平成27年度

伯耆町地区別懇談会　資料

伯耆町

伯耆町総合計画

第１次伯耆町総合計画基本構想

（H18年3月策定）

【まちの将来像】

森と光が織りなすうるおいのまち

共生と交流の伯耆町

（サブテーマ）*～誇りと愛着のもてるまちづくり～*

計画期間：H18～27年度（10年間）

＊前期基本計画：H18～22年度

＊後期基本計画：H23～27年度（H23年3月策定）

総合計画後期基本計画

＜社会経済情勢の大きな変化＞

- *長期的な経済の低迷*
- *本格的な地域主権時代の到来*
- *地球規模での環境問題*
- *人口減少社会における少子・高齢化*
- *高度情報化社会の進展など*

＜計画の見直し＞

- **社会経済動向を踏まえた将来人口の下方修正**
- **「基本構想」の一部見直し**

構想実現に向け着実な推進を図る

後期計画取組予定事業（主なもの）

【消防・防災】

◆ 震災に強いまちづくり促進事業（住宅耐震診断等補助金）他２件

◆ 消防車購入事業

【省エネルギー】

◆ ＬＥＤ照明整備事業　他２件

【道路網】

◆ 県道大滝白水線改良事業（栃原工区）

◆ 町道大倉線改良事業　他１件

【環境保全】

◆ 生ごみ減量化事業（家庭ごみ）他４件

◆ 町民の森整備事業　他３件

【上下水道】

◆ 藍野・ペンション地区簡易水道整備事業　他５件

◆ 桝水地区簡易水道施設整備事業　他５件

【地域福祉】

◆ 福祉事務所設置（システム導入・運用）

【芸術文化】

◆ 写真美術館修繕事業　他２件

【学校教育】

◆ 学校施設耐震化事業　他９件

後期計画取組予定事業（主なもの）

【農業】

◆　大滝放牧場機能充実事業

【集落活動】

◆　集落集会所建設事業

【交流】

◆　大山山麓リゾート観光・田舎ものマッチング事業　他１件

【町営住宅】

◆　ＰＦＩ手法による町営住宅整備の検討

【公共交通】

◆　バス事業

【協働のまちづくり】

◆　地域づくり団体支援事業

【高齢者の保健及び福祉】

◆　高齢者に優しいまちづくり事業

【医療・保険】

◆　健診事業　他３件

後期計画取組事業(平成26年度事業)

【消防・防災】

- ◆ 住宅耐震診断等補助事業（継続）
- ◆ 防災体制整備事業（継続）
- ◆ 被災者住宅再建支援助成事業基金造成（継続）

【省エネルギー】

- ◆ ＬＥＤ照明整備事業（継続）
- ◆ 太陽光発電システム助成事業（継続）

【道路網】

- ◆ 町道籠原栃原線改良事業（継続）
- ◆ 町道岸本停車場線改良事業（継続）
- ◆ 町道岸本４号線改良事業（着手）
- ◆ 橋梁長寿命化事業（継続）
- ◆ 道路ストック点検（完了）

【地域情報化】

- ◆ フリースポット設置

【環境保全】

- ◆ 町民の森整備事業（完了）
- ◆ 生ごみ減量化事業（継続）
- ◆ 使用済み紙おむつ燃料化事業（継続）

【上下水道】

- ◆ 桝水水道更新事業（完了）
- ◆ 公共下水道長寿命化事業（継続）

【地域福祉】

- ◆ 福祉事務所運営（継続）

【芸術文化】

- ◆ 写真美術館管理運営（継続）
- ◆ 写真美術館改修事業（着手）

【学校教育】

- ◆ 教育支援センター開所（継続）
- ◆ 岸本中学校体育館等改修工事（完了）
- ◆ 溝口中学校校舎耐震等改修工事（完了）
- ◆ 少人数学級（複式解消）の編成（継続）

後期計画取組事業(平成26年度事業)

【農林業】

- ◆ 中山間地域等直接支払交付金事業
- ◆ 農地・水保全管理支払交付金事業
- ◆ 五千石井手頭首工改修事業（継続）
- ◆ 大山山麓開拓事業（継続）
- ◆ 竹林整備事業（継続）
- ◆ 後継者支援事業（継続）
- ◆ 大滝放牧場改良事業
- ◆ 林業振興支援（継続）

【集落活動】

- ◆ 地域活動交付金事業（継続）
- ◆ 地区公民館等改修費補助事業（継続）

【交流】

- ◆ 田舎ものマッチング事業
- ◆ 日光地区交流促進事業

【生活基盤等の整備】

- ◆ バス事業
- ◆ 除雪機械購入

【協働のまちづくり】

- ◆ 町制10周年記念事業（完了）
- ◆ 日光保育所利活用整備事業（着手）
- ◆ 地域づくり団体支援事業（継続）
- ◆ 地区別懇談会（継続）

【保健及び福祉】

- ◆ 高齢者に優しいまちづくり事業（継続）
- ◆ 障がい児通所支援サービス費支給事業

【医療・保険】

- ◆ インフルエンザ予防接種事業（継続）
- ◆ その他任意予策防接種助成事業(継続)

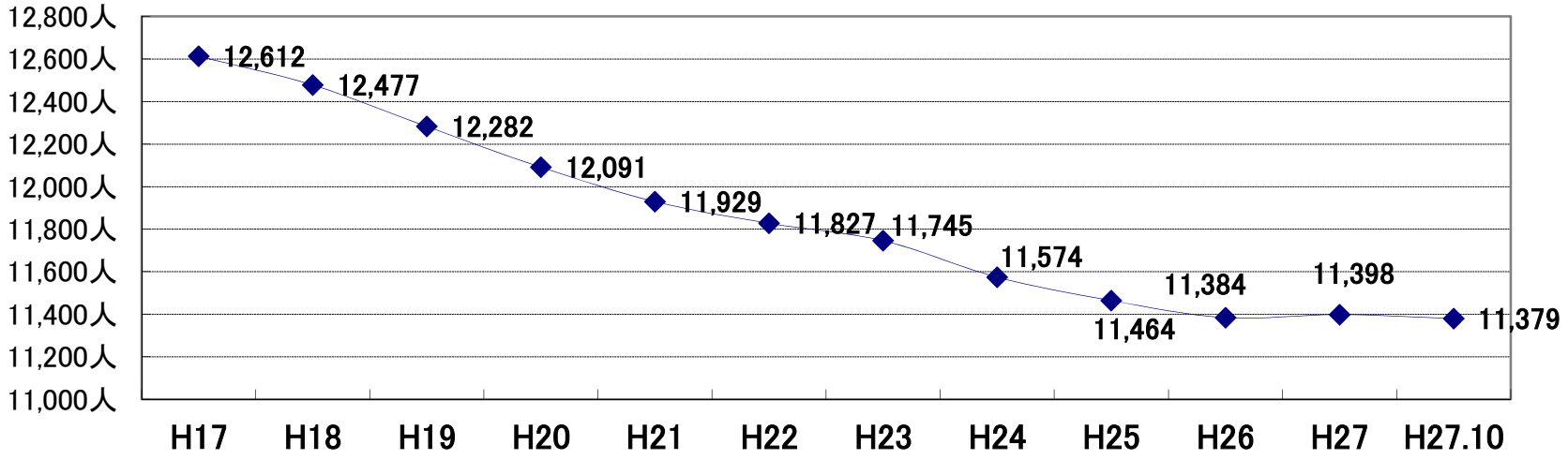
後期基本計画の着実な推進

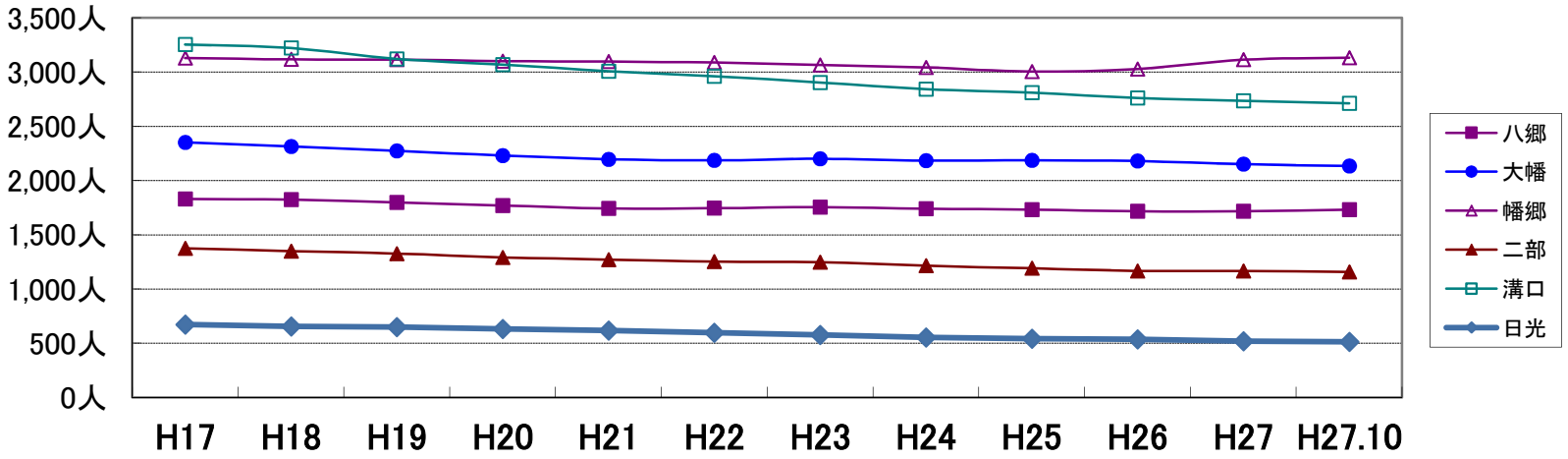
住民満足度の向上

住民と行政が一体となった協働のまちづくりの実現

町の現状　①

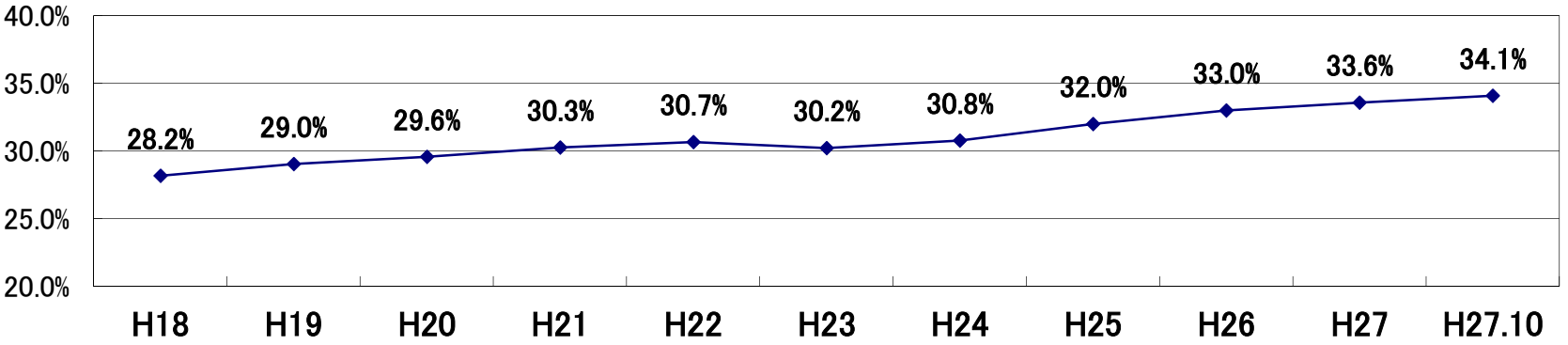
■ 人口の推移（各年度４月１日現在）

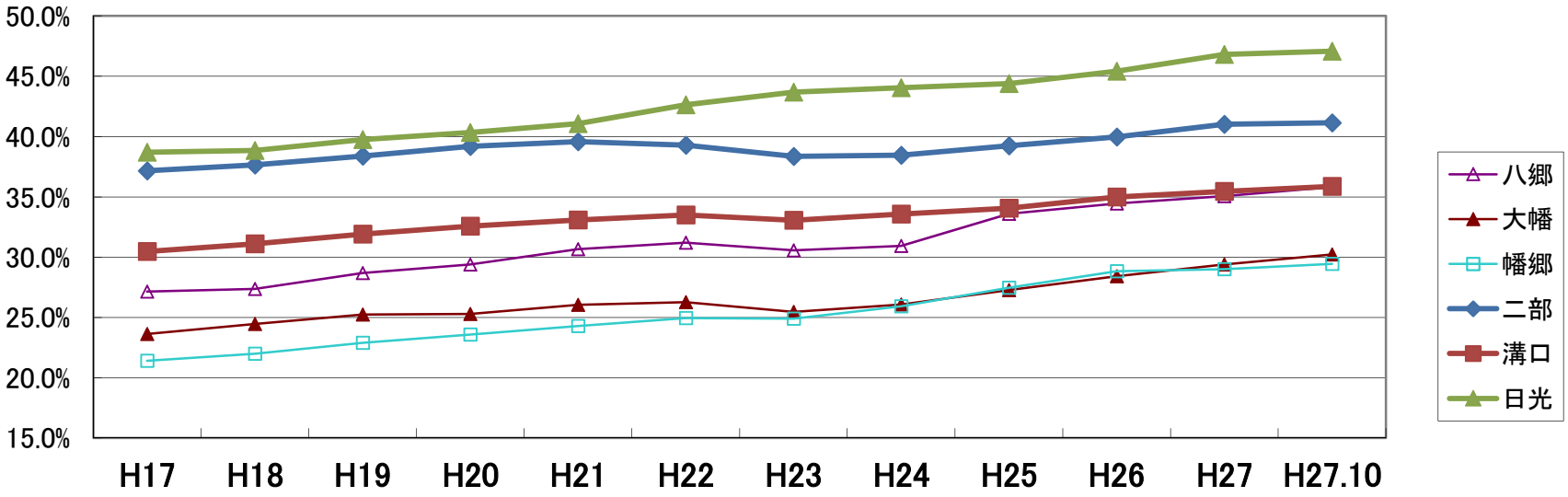




町の現状　②

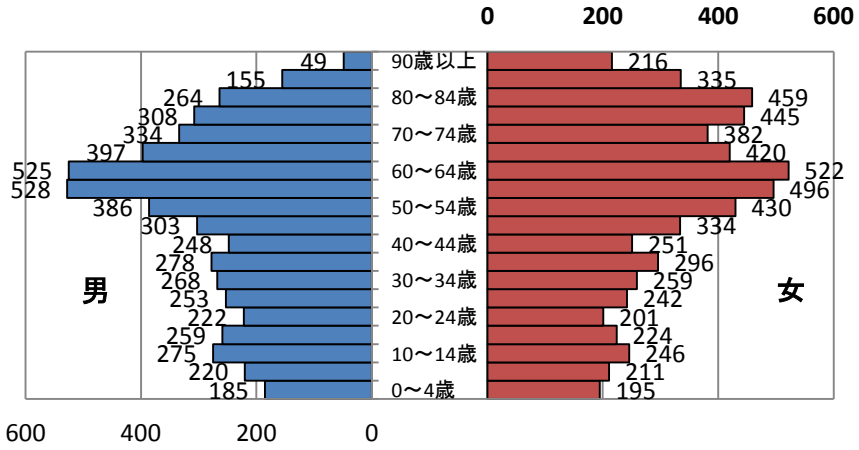
■ 高齢化率の状況（各年度４月１日現在）



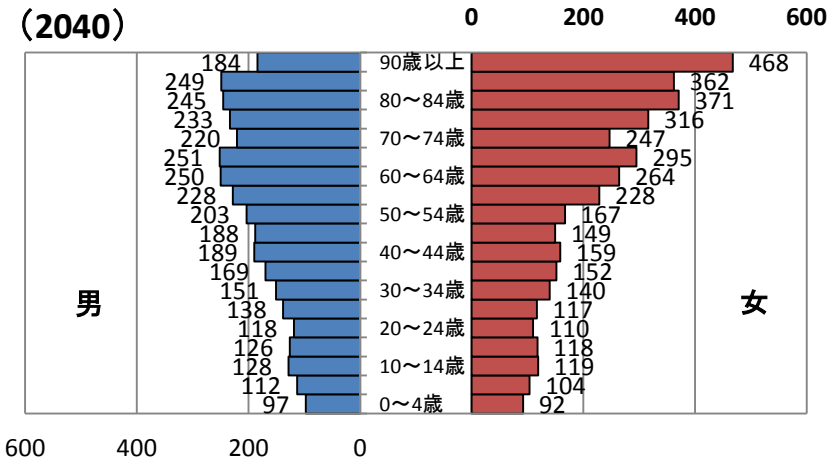


伯耆町の将来人口推計による人口ピミッド

伯耆町人口ピラミッド（2010）

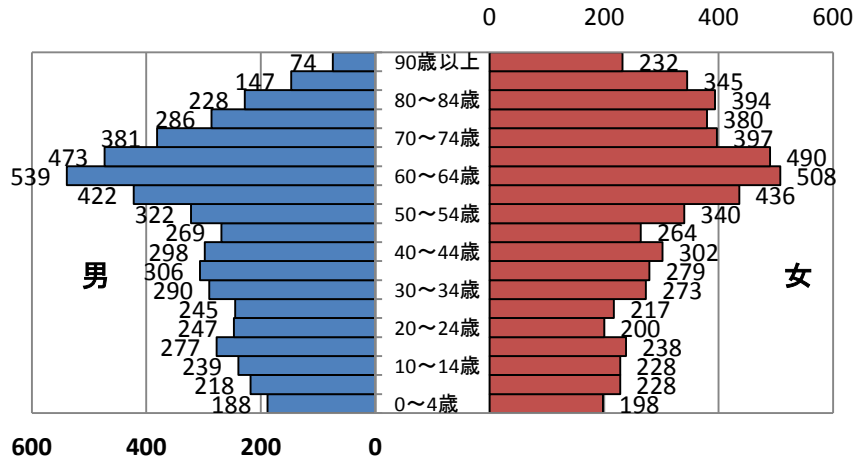


国立社会保障・人口問題研究所人口推計（2040）

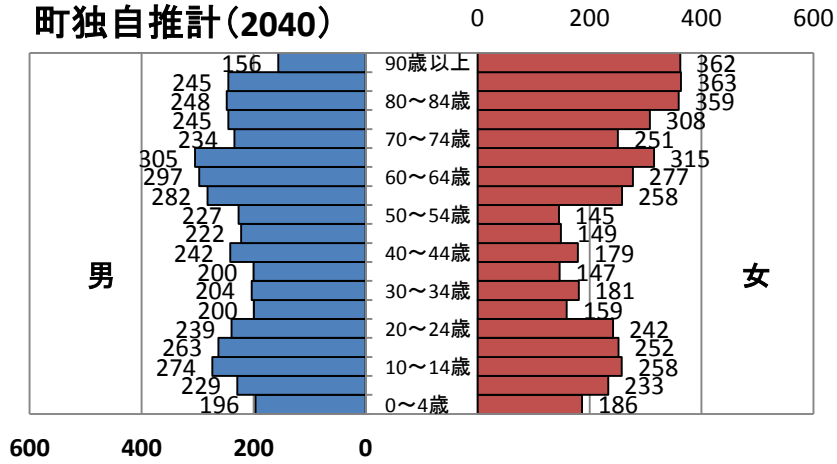


伯耆町人口ピラミッド（2015）

4.1現在　住民基本台帳　実績

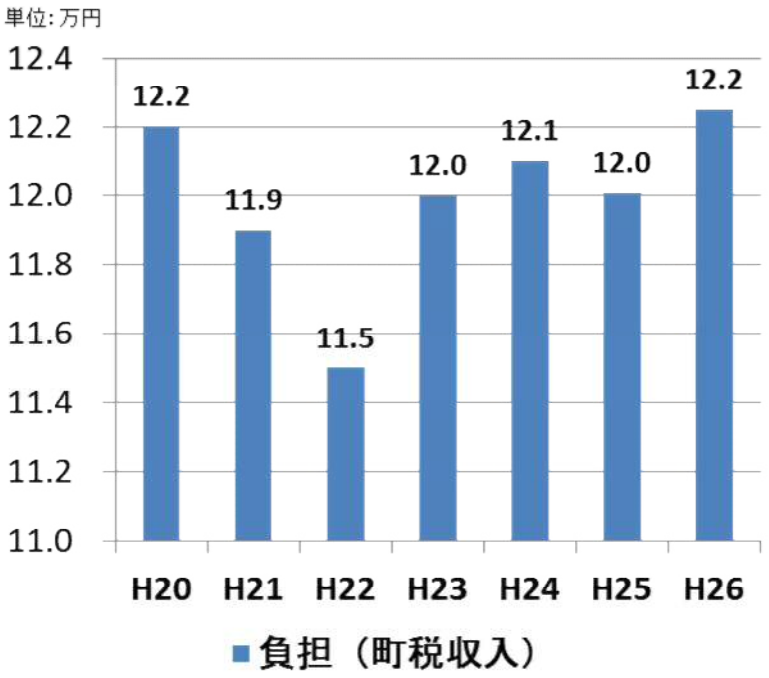


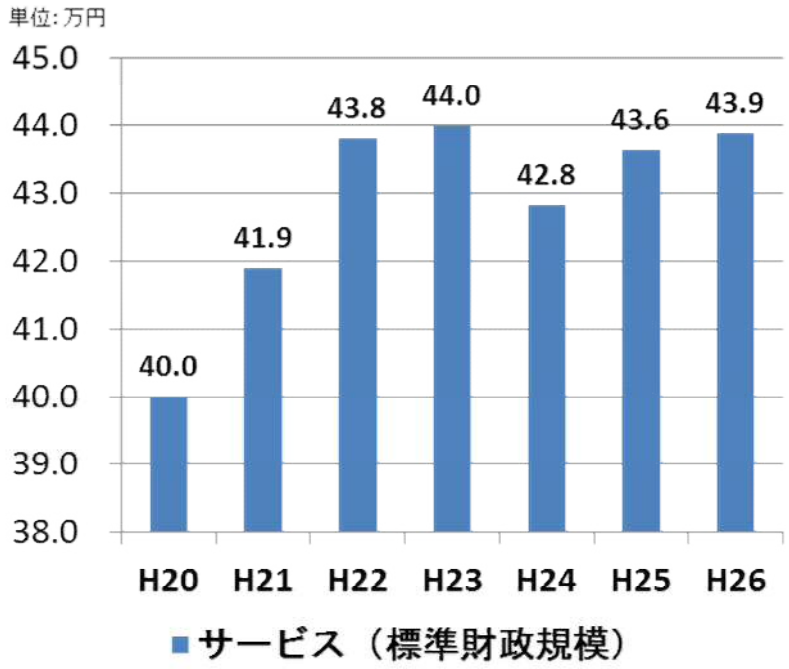
伯耆町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン町独自推計（2040）



行財政の状況

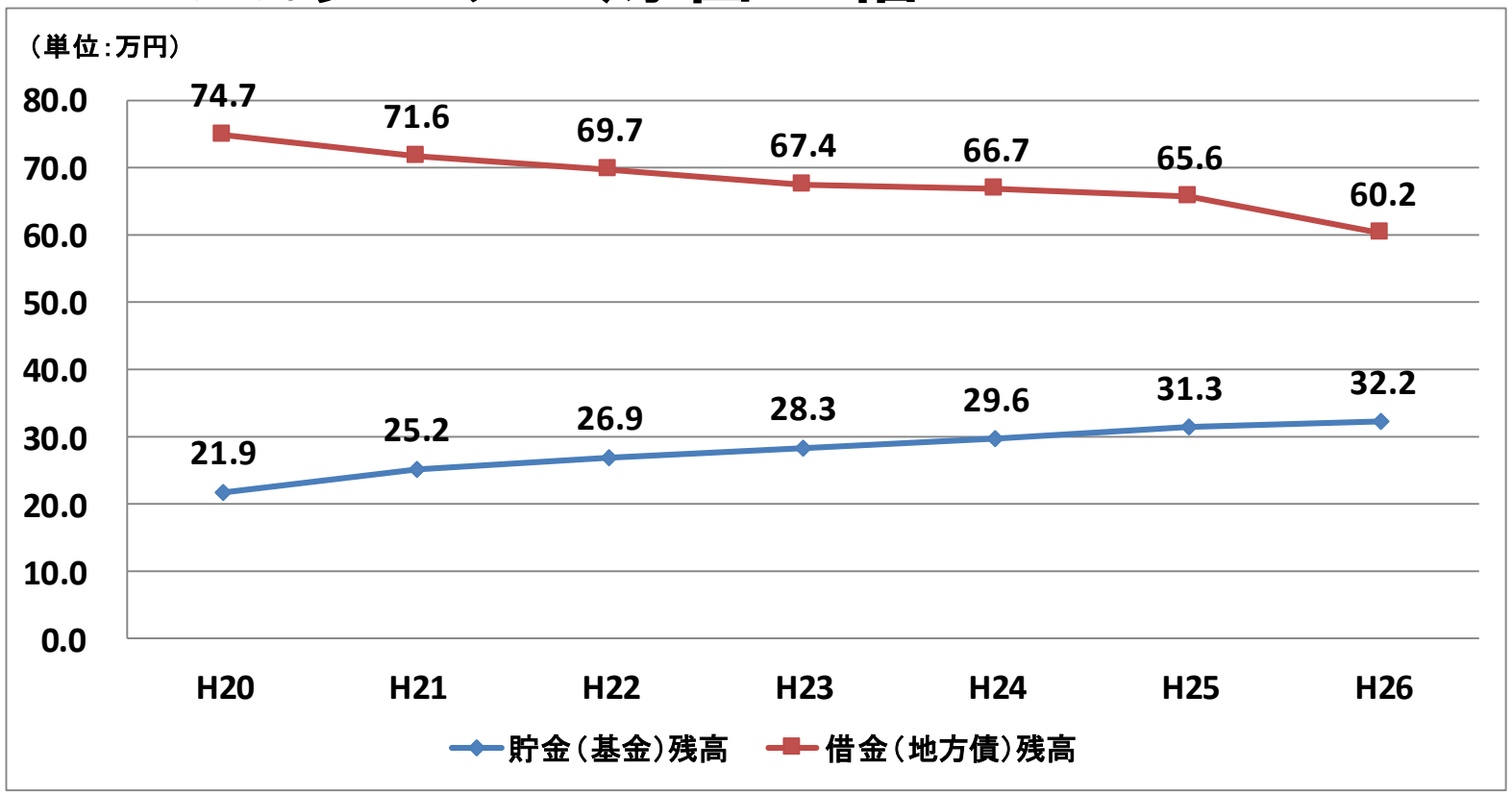
■一人あたりの負担とサービス





行財政の状況

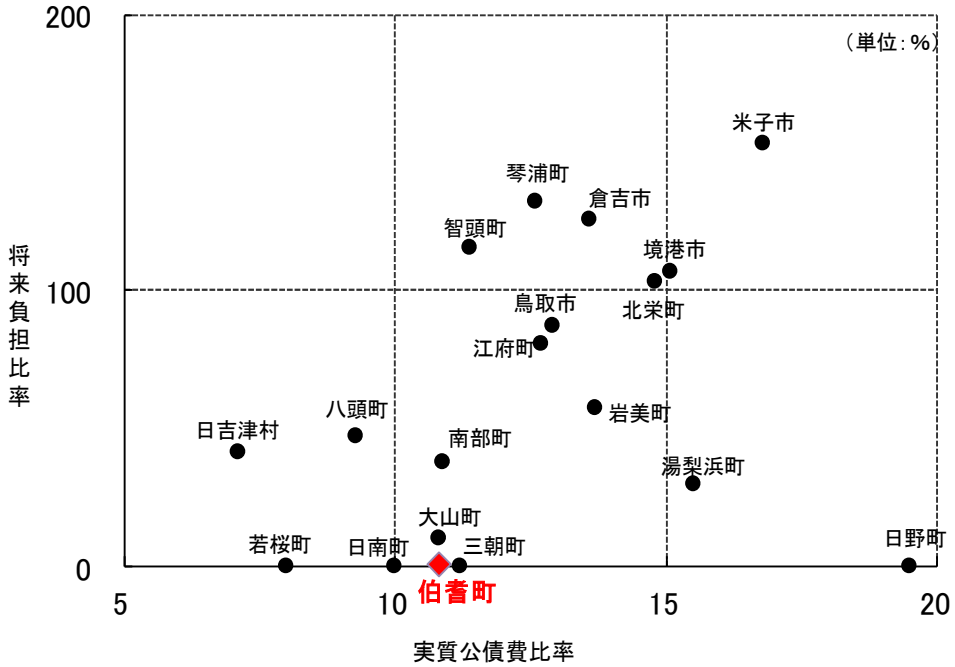
■一人あたりの貯蓄と借金



行財政の状況

右のグラフは県内市町村の「実質公債費比率」と「将来負担比率」の状況を表したものです。財政の健全化が進むとグラフの左下へ、悪化状態になると右上に位置します。

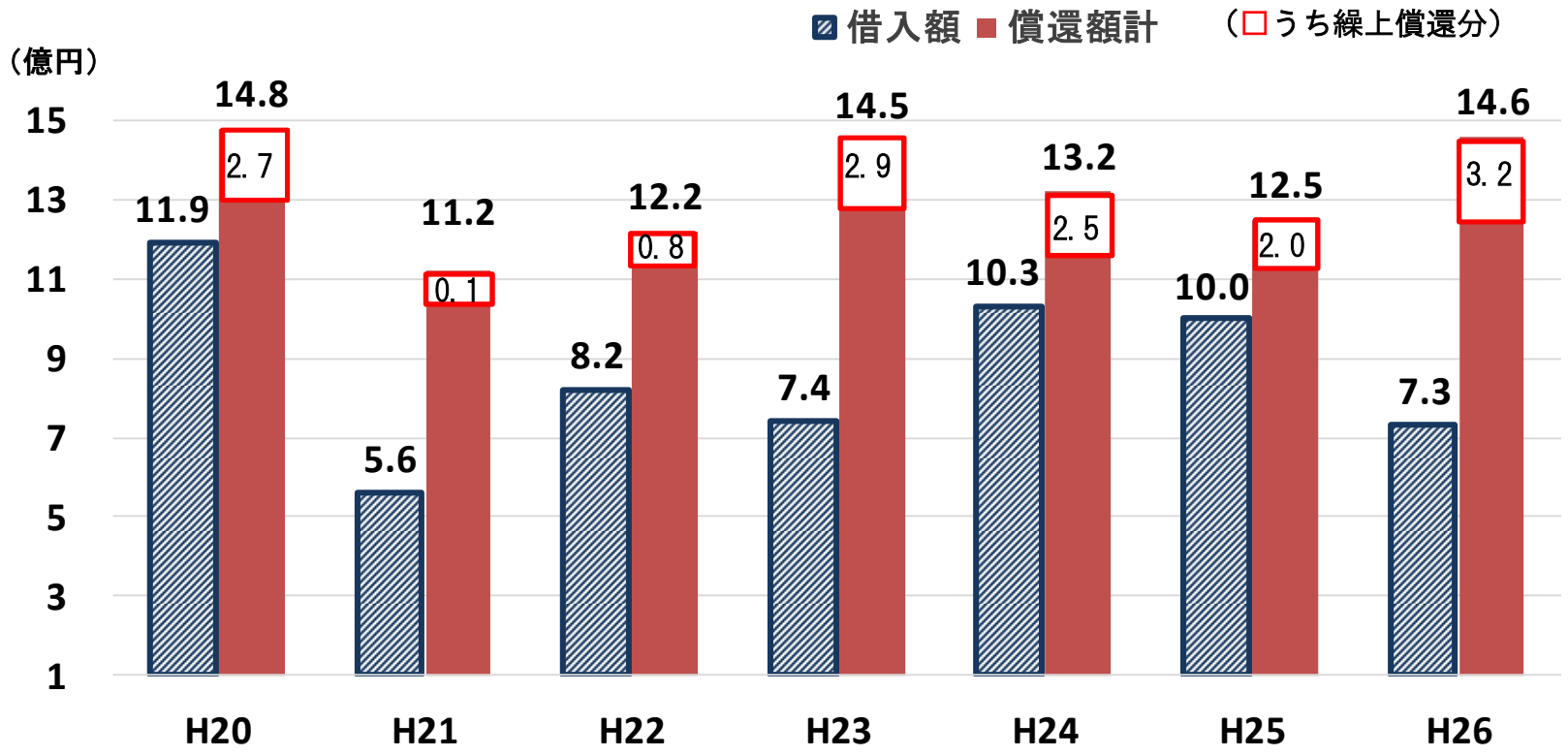
県内における伯耆町の順位は、（良いほうから）実質公債費比率【5位】、将来負担比率【5位】と、いずれも県内市町村の平均を上回る結果となりました。



《伯耆町の比率》

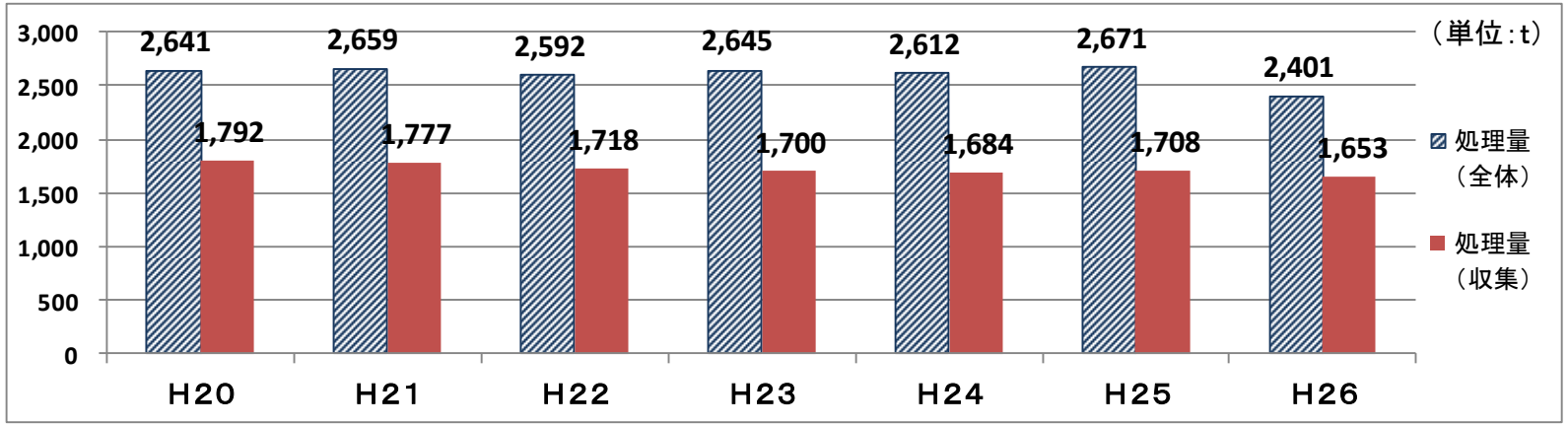
比率区分	説　明	26年度	25年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質公債費比率	町全体の公債費などの、標準財政規模に対する比率（18%を超えると借金するために許可が必要となる）【３ヶ年平均】	10.80%	11.90%	25.00%	35.00%
将来負担比率	一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の、標準財政規模に対する比率	0.70%	21.50%	350.00%	

借入金と返済額の推移

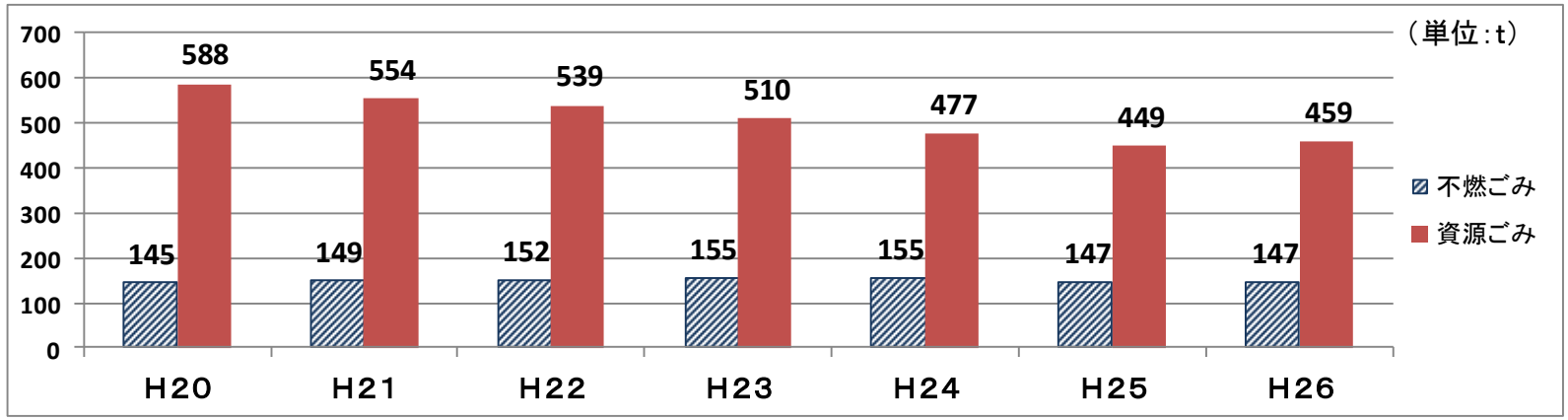

借入額
償還額計
（うち繰上償還分）
（億円）
15
13
11
9
7
5
3
1
11.9
14.8
2.7
5.6
11.2
0.1
8.2
12.2
0.8
7.4
14.5
2.9
10.3
13.2
2.5
10.0
12.5
2.0
7.3
14.6
3.2
H20
H21
H22
H23
H24
H25
H26

ごみ処理の状況

1．可燃ごみ処理量の推移

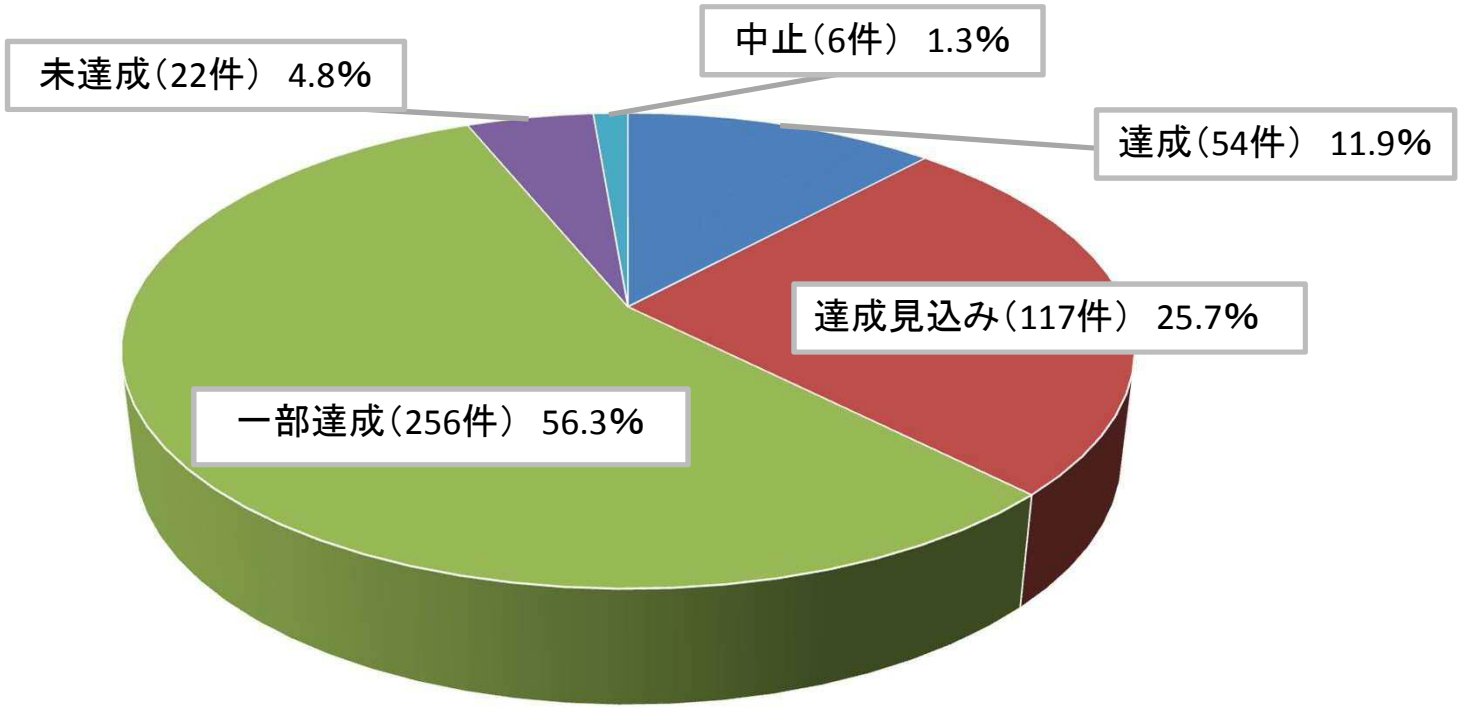


2．不燃ごみ及び資源ごみ処理量の推移



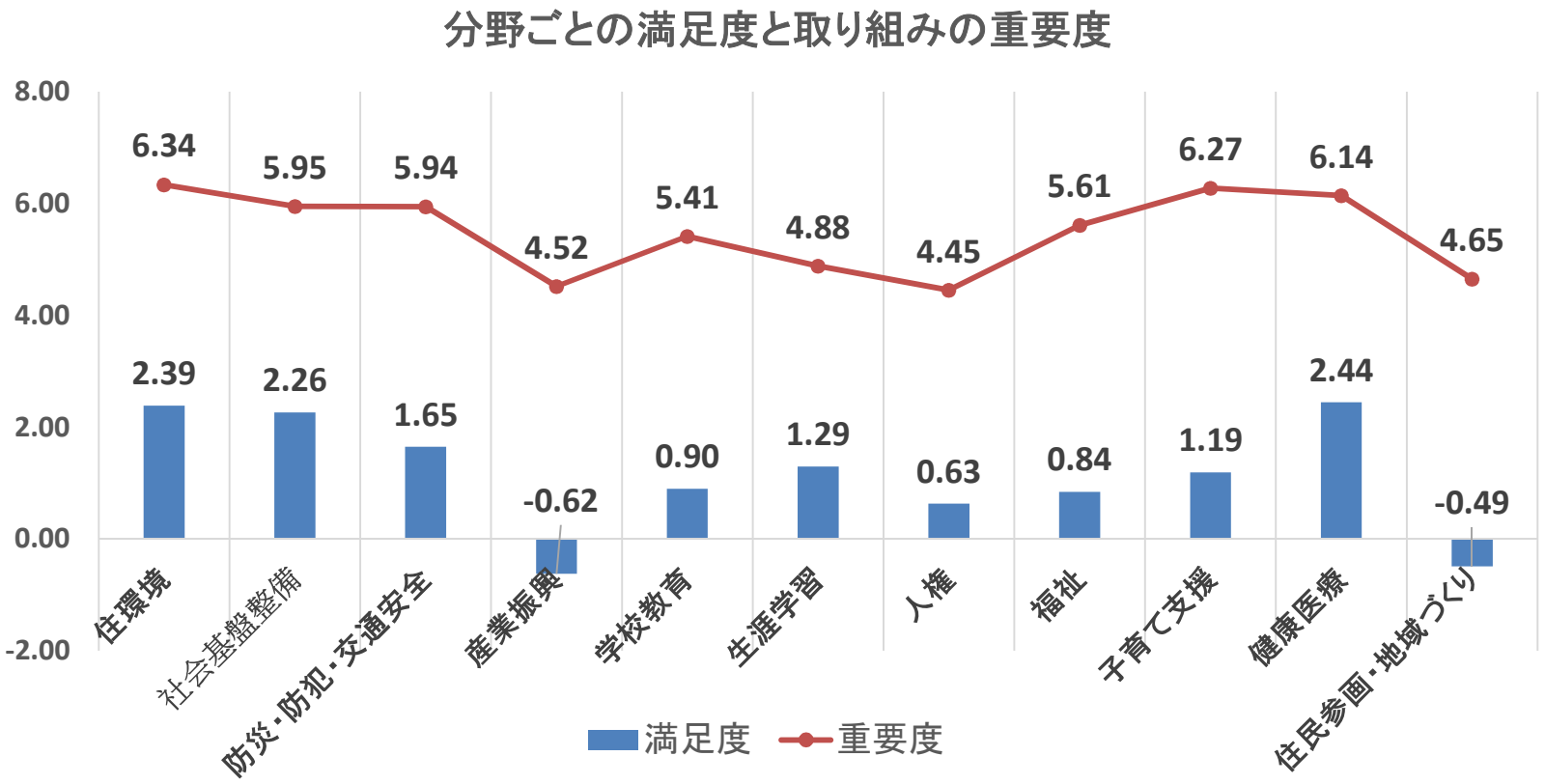
後期基本計画達成状況

平成26年9月現在　後期計画目標達成状況（割合：%）



後期基本計画の評価・総括

＊ まちづくりアンケート調査結果（H27調査）より

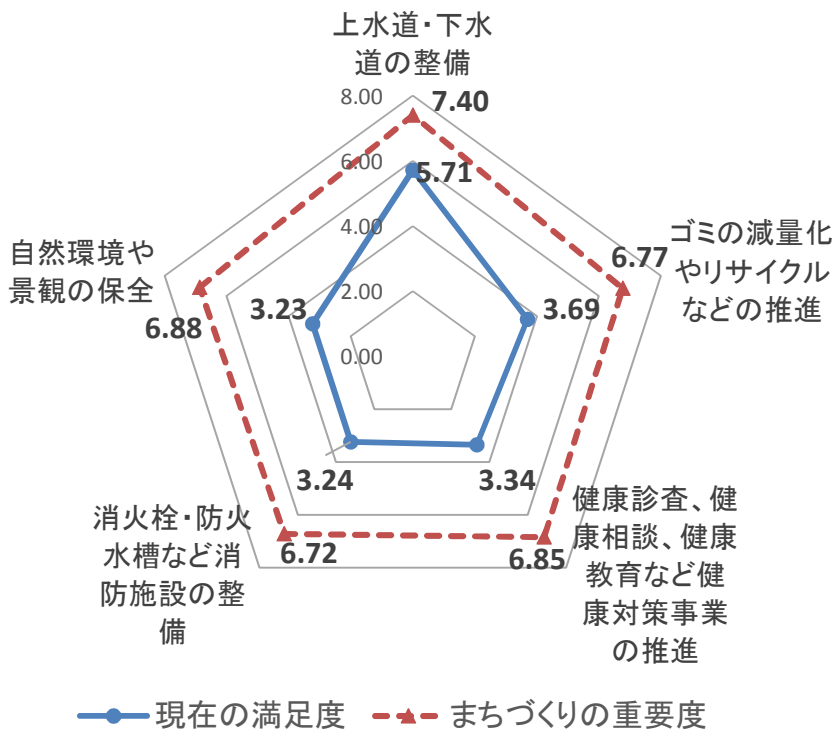


満足度　　満足している：10、やや満足：5、どちらとも：0、やや不満：－5、不満：－10　とした平均点
まちづくりの重要度　重要である：10、やや重要：5、どちらとも：0、あまり重要でない：－5、重要でない：－10　とした平均点

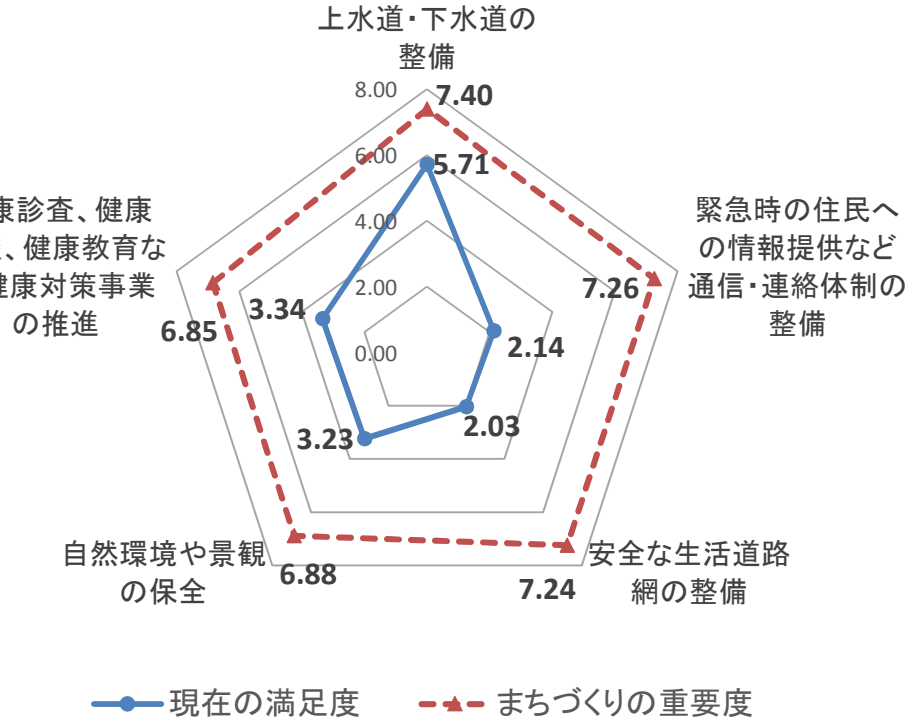
後期基本計画の評価・総括

＊ まちづくりアンケート調査結果（H27調査）より

満足度（上位5位）と重要度の関係



重要度（上位5位）と満足度の関係

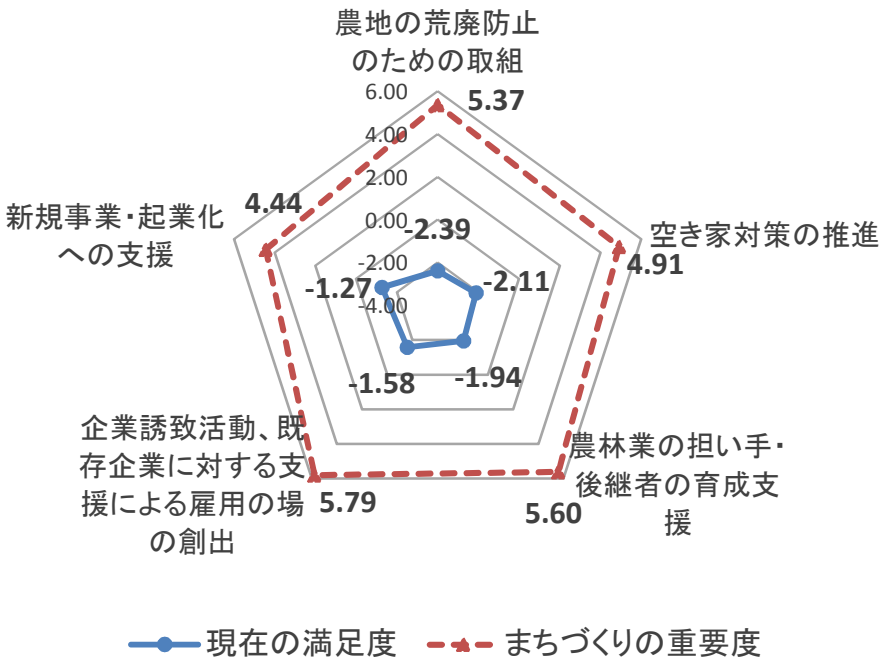


満足度　満足している：10、やや満足：5、どちらとも：0、やや不満：－5、不満：－10　とした平均点
重要度　重要である：10、やや重要：5、どちらとも：0、あまり重要でない：－5、重要でない：－10　とした平均点

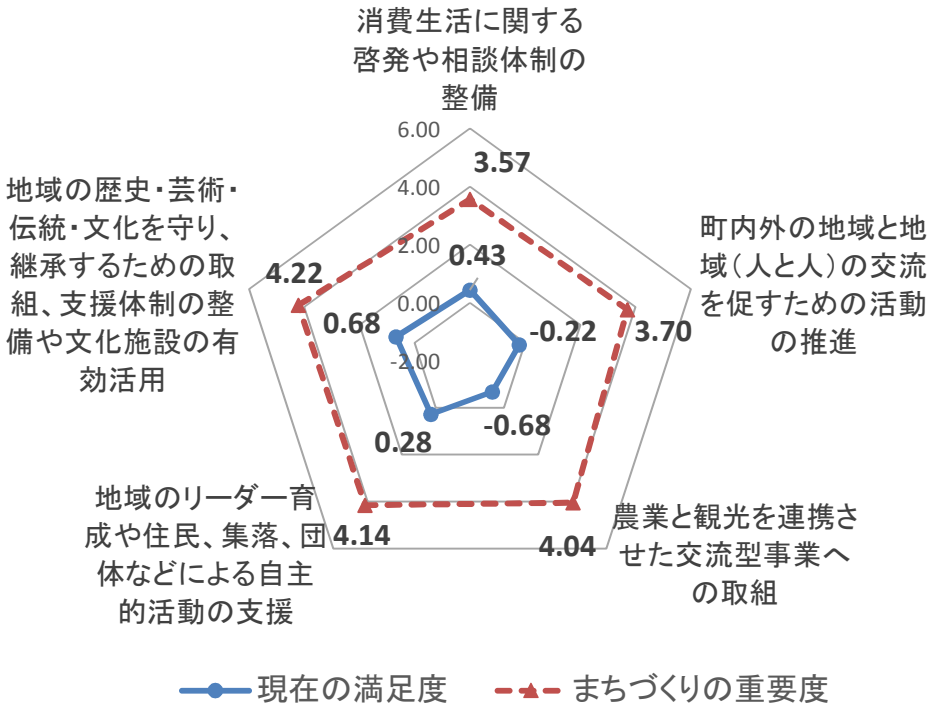
後期基本計画の評価・総括

＊ まちづくりアンケート調査結果（H27調査）より

満足度（下位5位）と重要度の関係



重要度（下位5位）と満足度の関係



満足度　満足している：10、やや満足：5、どちらとも：0、やや不満：－5、不満：－10　とした平均点
重要度　重要である：10、やや重要：5、どちらとも：0、あまり重要でない：－5、重要でない：－10　とした平均点

本年度の重点取組項目

１．地域産業・経済の活性化
・和牛肥育ブランド化の推進
・地域産品等の販路拡大

２．環境に配慮したまちづくりの推進
・使用済み紙おむつ燃料化の促進
・可燃ごみ削減に向けたｺﾝﾎﾟｽﾄ普及促進
・布類、混合粗大ごみの拠点回収

３．協働のまちづくりの推進
・地域おこし協力隊による活性化等の支援
・お試し住宅整備による移住促進
・集落施設等の整備、改修事業

４．子育て環境の充実
・多子世帯の保育料軽減
・保育所改修による保育環境の改善
・母子保健教育相談事業（拡充）
・放課後児童クラブ（拡充）
・放課後子ども教室（開設）
・予防接種助成

５．教育環境の充実
・社会体育施設の長寿命化
・写真美術館の長寿命化事業
・新しい学校創り準備協議会設置
・アスリート指導者招請による小中学生等の競技力、運動能力等の向上
・1学級30人以下の学級編成
・学校給食費補助（継続）

６．健康の増進・福祉の充実
・健康教育事業（拡充）
・胃がん撲滅キャンペーン

本年度の重点取組項目

・健康カレンダーの作成
・生活困窮者の自立の支援
・岸本福祉センターの避難所機能の強化

７．農林業の活性化

・有害鳥獣対策の強化
・和牛肥育ブランド化の推進
・和牛農家の経営安定支援
・集落営農組織の法人化等の支援

８．防災のまちづくり

・消防積載車更新
・集落のＡＥＤ購入助成
・耐震性貯水槽の設置
・ため池ハザードマップ作成助成
・住宅の耐震診断、改修費等補助

９．観光振興

・観光地の魅力づくりの推進
・観光情報等の発信によるＰＲ促進

１０．生活基盤の整備

・町道清山１号線道路改良（調査測量）
・町道殿河内１号線道路改良（調査測量）
・町道岸本停車場線改良
・町道岸本４号線道路改良
・町道籠原栃原線道路改良
・跨道橋（真野橋・大平原橋）安全点検
・清原配水管改良

１１．財政運営健全化

・合併特例債の有効活用

伯耆町まち・ひと・しごと創生

人口ビジョンおよび総合戦略

（概要版）

伯耆町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

伯耆町の将来人口推計

社人研推計（A）をもとに、推計条件（合計特殊出生率・社会移動状況）を3パターン仮定し、シミュレーションを実施。

社人研推計　約5,000人

町独自推計　約8,000人

2060年時点

・合計特出生率を国の設定に対して10年前倒しの設定（県と同様）

⇒基本目標Ⅰ

次世代へつながる子育てのまち

（子育て支援の充実）

・転入増加、転出抑制による社会増

⇒基本目標Ⅱ

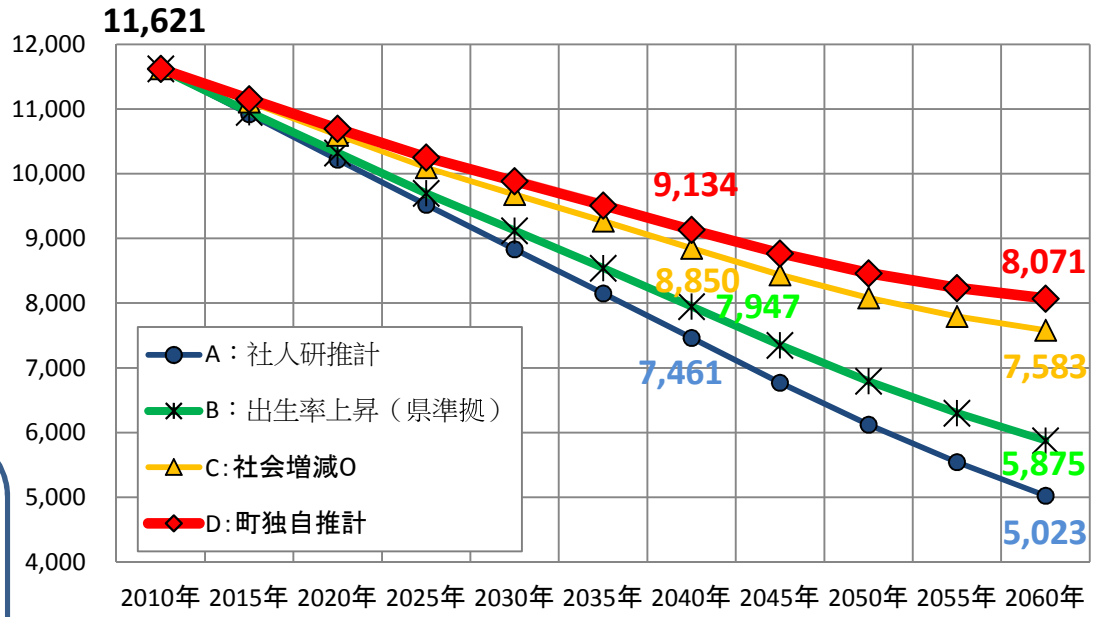
暮らしにつながる仕事のあるまち

（産業の振興・雇用創出）

⇒基本目標Ⅲ

ひとと地域がつながる安住のまち

（魅力あるまちづくりの推進）



パターン	合計特殊出生率	社会移動
A：社人研	1.42～1.47	2005年～2010年の社会移動率を基に算定。
B：出生率上昇	2020→1.80 2030→2.07	Aに同じ
C：社会増減0	Bに同じ	社会増減０
D：伯耆町独自推計	Bに同じ	2010～2014における転出入が継続 移住や転出抑制による社会移動の改善（年間30人ペース）

基本目標Ⅰ　次世代へつながる子育てのまち（子育て支援の充実）

施策①　出産・子育て環境の整備

《KPI（重要業績評価指標）》
町全体に占める年少人口の割合
11.4% ⇒ 11.4%
保育所の待機児童数　0人 ⇒ 0人
第2子以降の出産者数　46人 ⇒ 50人

- 妊娠期からの健康支援と健康相談体制の充実
- 子育てコミュニティカフェの設置
- 多子世帯の経済的支援の充実
- 乳児家庭保育支援給付金の支給
- 子育て中（後）の就労支援　　など

施策②　教育環境の充実

《KPI（重要業績評価指標）》
学校教育への児童・生徒・保護者の満足度　93.8% ⇒ 95.0%
標準学力調査における就学支援児童・生徒の平均正答率　87.5% ⇒ 90.0%
学校支援ボランティア活動に関する意識調査における児童・生徒の肯定的回答
93.9% ⇒ 95.0%

- きめ細やかな教育を推進する少人数学級の実施
- 学習環境の情報発信
- 経済的に支障のある児童・生徒への就学援助
- 家庭教育支援事業の実施
- 伯耆I学習（地域学習）の実施および伯耆町検定の作成・実施など

施策③　出会いの場づくり

《KPI（重要業績評価指標）》
出会いの場参加者の婚姻成立組数
0組 ⇒ 2組

- ほうき婚活コーディネーター支援事業
- 鳥取県が行う「とっとり出会いサポート事業」の支援と情報提供
- 民間団体が行う婚活イベント事業への支援　　など

基本目標Ⅱ　暮らしにつながる仕事のあるまち（産業の振興・雇用創出）

施策①　地場産業の育成・支援

《KPI（重要業績評価指標）》
和牛出荷頭数　326頭 ⇒ 400頭
新規就農者認定数　2人 ⇒ 5人
認定農業者数　43人 ⇒ 48人
農地の集積率　19.0% ⇒ 21.0%

- 和牛ブランド化の推進
- 意欲ある農林業者等に対する支援の充実
- 新規就農者、親元就農者に対する支援
- 農地の有効利用による担い手の育成　など

施策②　起業・創業・経営支援

《KPI（重要業績評価指標）》
新規起業事業者数　0事業者 ⇒ 1事業者
補助金の支援相談件数　33件 ⇒ 35件

- 起業・創業支援セミナー、相談会、交流会の開催
- 起業者支援補助金、雇用促進補助金、企業等立地補助金の充実
- 意欲ある地元企業等への経営支援の充実　など

施策③　雇用を生む企業誘致の推進

《KPI（重要業績評価指標）》
新規誘致企業数　0社 ⇒ 1社
新規誘致企業の町民雇用者数　0人 ⇒ 10人

- 広域連携による企業誘致活動実施
- サテライトオフィス、テレワーク開設・支援の検討
- 企業立地補助金制度、雇用促進補助金制度（再掲）　など

施策④　観光の振興

《KPI（重要業績評価指標）》
本町での宿泊者数 126,154人 ⇒ 130,000人
本町での宿泊者数（外国人）
5,691人 ⇒ 6,000人
観光客入込客数 688,684人 ⇒ 700,000人

- 文化観光情報提供事業
- 古民家を活用した観光施設の整備
- 観光事業者またはその連携体にコンシェルジュ配置またはDMO創設の検討
- 広域的な観光組織との連携による情報発信　など

基本目標Ⅲ　ひとと地域がつながる安住のまち（魅力あるまちづくりの推進）

施策①　交流の促進

《KPI（重要業績評価指標）》
小学校の学校間交流人口　10人 ⇒ 30人
大学生の交流人口　68人 ⇒ 80人
地域間交流の参加者数　80人 ⇒ 90人

- 小学生相互交流による異文化体験
- 地区協議会、地域づくり団体間等の交流促進
- 地元中学生や県内大学生との交流促進による地域活性化策の検討や展開
- 地元学生による高齢者を対象とした情報機器の利用講座の開設　など

施策②　地域活性化活動の支援

《KPI（重要業績評価指標）》
遊休家屋等の活用件数　0件 ⇒ 10件
地域活動拠点の満足度　12.1% ⇒ 15.0%

- 遊休家屋・空き地の地域コミュニティ活用
- 熟年（移住）者が学ぶ喜びを感じる文化講座の充実
- 「小さな拠点」の形成を意識した地区協議会の支援
- 地域リーダーの育成　など

施策③　定住環境の充実

《KPI（重要業績評価指標）》
デマンドバスの利用者 29,190人 ⇒ 30,000人
リサイクル率　17.8% ⇒ 29.2%

- デマンドバス等の地域交通網の維持確保
- 過疎地有償運送導入の検討・支援
- 中山間地域における買い物支援
- 再生可能エネルギーに利活用の促進　など

施策④　IJUターンを促す定住施策

《KPI（重要業績評価指標）》
お試し住宅体験者　0件 ⇒ 10件
伯耆町は住みやすいと感じる人の割合
68.9% ⇒ 70.0%
18歳以下の社会増　23.6人 ⇒ 25人

- 移住、定住、就職支援相談窓口の一元化
- 移住者のお試し住宅の整備
- ふるさと回帰情報発信事業
- 民間業者と連携した住宅情報の提供
- 小・中学生に対して、郷土愛を育む教育の推進　など

～メ モ～